



社会福祉法人 鶴風会

## 後援会ニュース

No.21(昭和63年)  
社会福祉法人 鶴風会

## 後援会

東京都武蔵村山市浮間4-10-1  
☎0425-61-2521  
事務所・東京都中野区  
本町2-15-13 ☎03-372-7650

63年度チャリティバザー  
11月27日開催

後援会ニュース21号をお届けします。  
今号は後援会支部の結成について、また間近にせまった昭和63年度チャリティバザーの開催日程についてお知らせいたします。

### 御挨拶

社会福祉法人鶴風会  
理事長 倉島 捷子

後援会を支えていたゞいている多くの人々、皆様御機嫌良くいらっしゃいます。初めに何時も変わぬ御支援、御厚情に深い感謝と御礼を申し上げます。私事今年五月の法人理事会におきまして再度理事長に選出されました。之で四月に入院児、職員一同、心を一つにしておりました。施設へ業務遂行のために出掛けた私は何時も感じます事、それは夫々の部門、医師、看護婦、訓練作業療法、言語等々、多忙な激務の間に学会、研究会での発表、真摯な態度に感動いたしております。何卒よろしく御願い申し上げます。

さて御陰様で当法人の事業は、みはらせるものがあります。今年春完成の為着工しました。之は

覚ましい前進をつゞけております。

後援会ニュース二十号(前号)で目されております。障害児の向後

御紹介いたしました通り「この施設が地域の重要な役割をもつた、社会資源なのだという認識」のもとで前進拡大してゆこう。どんなに困難な制約が山積しようとも、院長の方針をたいして頑張ろうとする御支援、御厚情に深い感謝と御礼を申し上げます。私事今年五月の法人理事会におきまして再度理事長に選出されました。之で四月に入院児、職員一同、心を一つにしておりました。施設へ業務遂行のために出掛けた私は何時も感じます事、それは夫々の部門、医師、看護婦、訓練作業療法、言語等々、多忙な激務の間に学会、研究会での発表、真摯な態度に感動いたしております。何卒よろしく御願い申し上げます。

皆様のあたたかい御理解を御願い申し上げます。



## 後援会支部結成に思うこと

東京小児療育病院

ケースワーカー 清 宮 祥 子



等には子の練習にはげむ

昭和四十五年九月にみどり愛育園が誕生しましたが、50人の子どもたちが2階のフロアだけで生活していました。

子どもたちの成長につれ、ベッドを大きくし、医師当直室を下に移し会議室も失くして対処してきましたが生活空間は狭くなり限界

重症心身障害児施設という状態になりました。1階の外部門を研究所に移し、若干の増築が検討された日のことが思い出されました。

重症心身障害児施設が生涯かかる施設として存在している今、子どもたちにとっては終のすみか

ですから姑息的な改築は見合せてほしいと主張しました。

しかし、外来の患者さんの何人かは施設入所が急がれ、東京小児療育病院には家庭に帰すことが出来ない重症児がベッドの空きを待ち、増床を伴う改築はやむを得なかったのです。

昭和五十八年一月のことでした。

その前後に病院の上層部は大きく

変りました。

重症心身障害児施設が生涯かかる施設として存在している今、子どもたちにとって終のすみか

から姑息的な改築は見合せてほしいと主張しました。

しかし、外来の患者さんの何人かは施設入所が急がれ、東京小児療育病院には家庭に帰すことが出来ない重症児がベッドの空きを待ち、増床を伴う改築はやむを得なかったのです。

昭和五十八年一月のことでした。

その前後に病院の上層部は大きく

先生は70歳で引退され、後任が決まるまではと棚瀬先生があとを継がれ、まもなく若き鈴木先生が院長に就任されました。

鈴木院長は障害児の医療に造詣が深く子どもたちに良かれと思うことはどんどん実行されました。

ともすると親たちや職員の全員に充分、理解がゆきとどかないいうことに事がはこんでいたかも知れません。

友人たちに東京小児ということやことなどと、と言わわれて、ケースワーカーの連中ですか必要性は百も承知していますが、やり出せば引っこみはつかないだろうし、大丈夫かしらと複雑な心境でした。

みどりの1階の子どもたちが高等部卒業して後、狭いプレイームで遊び、学習し、食事をするだけの生活ではかわいそだからこそって、どこかの作業所のようなどころに通所できないかと聞かれました。

新聞、テレビ等でも報道され、ご存知のことと思います。

円形の建物をこわして通園棟を新築できることになりました。

天の助けといつては失礼で全国の重症児を守る会の方々が10年以上もながながと重症児を全員通学させても卒業後は在宅の道しかな

いではないか、通園施設をつくってほしいと訴えつづけてきました。

国の方策を待てば、都はこの事

業をはじめ、老人対策を優先させたという間になくなってしまい

ます。

東京のかたすみにひたむきに障害児の医療を追求してきた当院の存在が知れわたり、多くの方々が見学に来られます。施設は建物でなく、働く人たちが何よりの財

開院以来十八年勤められた藤永先生が、昨年四月、院長はついに財政的な裏付もないまま、場所もなくプレーの着替えの部屋を利用して、重心児の就学前保育と重心者の卒業後の通園部門をスタートさせました。

研修や親睦のための部屋もありました。

友人たちに東京小児といふとやることは、わびしい話になりますが、ともすると親たちや職員の全員に充分、理解がゆきとどかないいうことに事がはこんでいたかも知れません。

友人たちに東京小児といふとやることは、わびしい話になりますが、ともすると親たちや職員の全員に充分、理解がゆきとどかないいうことに事がはこんでいたかも知れません。

夫かしらと複雑な心境でした。

天の助けとでも言うべきでしょ

うか、東京都はこの事業に今年度補助金をつけて下さることになりました。

訓練士は26人にふえ、親子と訓練士と3人が訓練補助具を使います。

親たちが早めに行って真剣に場所を取りをする光景もみられ、空調がわるいものですから公衆浴場の訓練士は26人にふえ、親子と訓練士と3人が訓練補助具を使います。

言語と心理も職員がふえました

が個別指導室が足りなく時間調整をしている有様です。

職員の控室は本館の3階に移しました。

訓練室の拡大をはかることになり

ました。

3階の訓練室の改築、トイレの増設でやうに一千万円はかかるそ

うです。

バザーの売上金の五〇〇万円はあつという間になくなってしまいま

す。

新しい通園棟は院長念願のみどりの子どもたちも利用できる所で

このことは在宅の重心児の卒後と同じです。在宅は親が高齢化してゆき、いつまでこの子を介護できるかという不安をかかえていました。

一方、施設は子どもたちが年長となり、どちらの施設も対応不十分で課題が山積しています。

産ですと自慢いたします。

何十億もかけて作られた都立の肢体不自由児施設を思うと同じ児童福祉法の措置で、生活環境との差はあまりにも大きすぎます。

昭和三十九年に開設され、二十周年を迎えるわけですが、建物のいたみはひどく、雨もりもするし、相次ぐ模様替えで使い勝手はわるく、建て替えの時期が来ています。

突然に思われるかもしませんが、院長はこの時期に後援会支部の結成を呼びかけました。

施設は親たちがつくつて行くもの、職員はそのお手伝いをする立場だとお考えです。

昭和六十一年三月から、「両親の集い」と名付けて、年に3~4回、研修会を行ってきました。父母会と外来の患者さん、保健所、保育園、通園施設、養護学校の方々をお誘いしてきました。

後援会支部結成の準備会は今年の六月七日(火)午後に入院児の父母、通園、外来の親の方が出席して下さいました。

理事長、院長から後援会の主旨の説明があり、世話役を引き受け下さる方々も決まりました。あとて支部という言い方をしますのは後援会はすでに存在しています

し、東邦大学の同窓の先生方が中

心になり、経済的援助を続けて来られました。

年1回のバザーを共催し、後援会ニースを発行しています。

支部は財政的援助の他に直接、病院、施設の活動に参加して下さることを期待しています。

子どもたちのために、どんな施設が必要か、将来構想について一緒に考えて行きましょうと言つことに

となのです。

職員はいろいろな事情で入れ替ります。

親たちは変らぬ愛を子どもたちに注いでいる存在です。地味な仕事を続けて行く職員を支えていけるのも、子どもたちと親の存在

だけと思っております。

是非ともお力添えをお願いいたします。

・後援会支部の申し込み用紙は東京小児療育病院本館2階の経理部にあります。

また、窓口やケーラー、カーラーの方に申し出ても受取れます。

・その他後援会支部のことで、ご質問のある方は世話人やケーラー、カーラーにおたずね下さい。



## ト 言 報

昭和四十八年に社会福祉法人鶴風会後援会が設立されました。その発足当初より事務を担当し、十数年間にわたり尽力されました長谷川千余子さんが、去る八月十九日呼吸不全で急逝されました。

ここに生前の御厚誼に深謝致し謹んで御知らせ申し上げます。

なお今後の事務は青山慈子が引き継ぎました。至りませんところを皆様の御指導を仰ぎ努力致しますのでよろしく御願い申し上げます。

御寄付戴きます時の振込方法につきまして。

例年、後援会ニースと合せて郵便局の鶴風会振込用紙と、三菱銀行の用紙を同封し、御寄付を御願いしておりますが、まざらわしさを避ける為、郵便局の振込用紙のみを同封させて戴く事に致しました。

若し従来通り三井銀行の方が御便利の御方は御手数ですが左記に御送金をお願い申上げます。

○三井銀行中野支店(店番一五)

○普通預金

○口座番号 四一〇七二三五

○口座名 社会福祉法人鶴風会

後援会代表倉島櫻子

## □ チャリティバザーの御知らせ □

日 時 11月27日(日) 午前11時~午後3時30分

場 所 東京小児療育病院集園訓練棟

収益目標 500万円

- 本年も皆様からの御寄贈を御願い申し上げます。
- 御品物は出来ましたら御送り戴ければ幸甚に存じます。
- 御品物が沢山の場合は戴きに参ります。

連絡先

病院 東京都武蔵村山市学園4-10-1 TEL 0425(61)2521

後援会 東京都中野区本町2-15-13 TEL 03(372)7530